

坪井議員、谷議員が聞く

東広島の 保育の現状と課題

表紙写真／話をお聞きした皆さん

今回は、「東広島の保育」をテーマに、認定こども園、保育園の皆さんに保育の現状、子ども達の未来についてインタビューしました。

プロフィール



認定こども園
サムエル西条こどもの園
園長 松村 ひとみさん



にじいろ保育園
園長 白野 裕康さん



八本松あおい保育園
園長 景山 ちなみさん



認定こども園さざなみの森
園長 難波 元貴さん

子どもたち一人ひとりを大切に

保育をしていきたい

Q 園の特徴と自己紹介をお願いします。

日野 一人ひとりの子どもを大切に
する保育を掲げ、「にじいろ」という名称も、一つ一つの個性、色を大事にしたいという
思いからつけています。西条に

待機児童解消の社会貢献を、と
いうことで園を運営させていた
だく運びとなりました。市の子
育て支援もしっかり行っていき
たいと思います。

景山 子ども一人ひとりを大切
にし、保護者から信頼され、地

域に愛される保育園を目指して
います。子どもと同じ目線に立
つことを大切にしていこうと保
育士と一緒にやっています。

難波 自然豊かな里山で子ども
達がおもいっつきり遊べる環境を
探し、38年前に現在の場所をみ

つけて、幼稚園としてスタート
しました。その後、6年前に幼
稚園機能と保育園機能と子育て
支援機能をあわせ持つ、東広島
で最初の認定こども園に移行し
ました。そして、全ての子ども
を対象とする施設になりました。

松村 キリスト教保育の園です
ので、「自分を愛するようにあ
なたの隣人を愛しなさい」とい
う聖書の言葉が理念です。また、
大規模であることのメリットを



- ① インタビュー風景
- ② にじいろ保育園
風船で遊ぶ子ども達。
- ③ 八本松あおい保育園
イスとりで遊ぶ子ども達
- ④ 認定こども園さざなみの森
園庭で遊ぶ子ども達
- ⑤ サムエル西条こどもの園
園庭で遊ぶ子ども達

生かして、園自体の保育の質を上げていこうと一生懸命取り組んでいるところです。

Q 家庭での子育てとの関係は。

難波 子育ての基本は家庭にあります。ただ、家庭でできない社会的な環境の中で育ちあうという体験の場が、園であると思っています。

松村 入園中に第2子、第3子が生まれ退園になる方がいます。

家庭で子どもとしっかりかかわり合うチャンスと思う一方で、子育ての大変さを抱え込んでしまつという両面あり、難しいと思います。

Q 保育現場での課題や必要なことを教えてください。

日野 この園も保育士確保に苦労されているとおもいます。東広島市では、職務奨励金などの手当があり、助かっています。
松村 職務奨励金は自治体により差があつて、地域差が出ることもありますね。

日野 住宅借上げに補助があるのですが、法人で借りる必要が

あるので、使いづらく感じます。
難波 長く勤めてもらう仕組みづくりが必要な中で、借り上げ制度が5年という期限は短いと思います。

松村 保育士の確保でいえば、保育士自身の出産、子育てもあり、無理のない範囲で園に戻って働いてもらいたいと思っています。

景山 母親になって戻る保育士は、子どもの見方もすごく丸くなつていて、こついった保育士が増えてほしいです。

難波 乳児の待機児童の解消には、既存の幼稚園などを活用する手立てを考へることも有効ではないかと思っています。

松村 保育士の給与も一般の給与と比べると低いですよね。男性保育士も勤めたいけど続けられないといったこともあります。
難波 国の制度を活用しながら、いろんな人がかわる、子ども達にとって豊かな環境をつくる保育施設の「東広島モデル」が生まれるといいですね。